

平成28年度事業報告書

社会福祉法人けやきの村

社会福祉法人けやきの村は、ノーマライゼーションの理念と利用者の意思決定のプロセスを大切にするとともに、社会福祉法第3条に規定する「福祉サービスの基本理念」、同第4条の「地域福祉の推進」及び第5条の「福祉サービスの提供の原則」を基本とした『経営理念』、また中・長期計画としての『経営方針』・『福祉ビジョン2015』、さらには職員が利用者本位の質の高いサービスの提供と開発に努め、社会福祉の推進と福祉サービス利用者の自己実現をめざすための『職員行動規範』を遵守するとともに、利用者の福祉向上を至上命令とし、「職員の意識改革」・「仕組み、体制の総点検」・「指示系統の徹底」・「意思・意識の共有」を継続して推進しました。

平成28年度においても、福島県の県北保健福祉圏域における障がい者福祉の中核的な役割を果たすべく、けやきの村、青松苑および静心園の3ヶ所の障害者支援施設を中心に日中活動の場としての生活介護事業、就労移行支援事業および就労継続支援B型事業、在宅サービスとして短期入所事業および居宅介護事業、生活の場としての施設入所支援事業、サービス利用に係る特定相談支援事業等を実施するとともに、高齢者福祉においても飯坂北地区の福祉拠点としてデイサービスセンター指定通所介護事業所、指定居宅介護支援事業所、福島市飯坂北地域包括支援センターと訪問介護・居宅介護を行うけやきの村ヘルパーステーションが、在宅高齢者等への福祉サービスを提供するため、事業計画に基づき事業を実施しました。

第1 施設の運営管理

施設利用者の基本的人権を尊重し、施設環境の保全に努め、施設利用者が生活の場として快適な日々が過ごせるよう努めました。

I. 施設内外の環境及び備品等の整備

① 本部

けやきの村相談支援センター整備（平成28年度、29年度事業）

② けやきの村

BS受信設備移設工事

非常用発電機バッテリー交換工事

汚物除去機修繕

全自動洗濯機修繕

空調機GHP室外機等修繕

浄化槽修繕

送迎用車両中古車購入（日産セレナ）

入浴用車椅子（LA-500C）購入

ハンディーナース子機2台更新

搬送用トラック（いすゞ）購入（福島県共同募金会整備事業）

軽自動車（ダイハツミラエス）寄贈（東北電力労働組合福島県本部様）

③ 青松苑

介護用ベッド購入（1台）

マニュアルストレッチャー購入

火災報知器交換

高圧区分開閉器交換

玄関自動ドア修繕

放流ポンプ交換工事

誘導灯バッテリー交換

除湿乾燥機寄贈（パナソニックAVCネットワーク労働組合様）

④ 静心園

殺菌灯式包丁俎板殺菌庫更新

浄化槽送風機交換工事
 浴室内カーテン更新
 業務用車両中古車購入（日産ステーションワゴン）
 デジタル複合機更新
 進入路防護柵設置工事
 玄関脇倉庫更新
 揚水ポンプ交換工事
 暖房設備修繕
 乾燥機修繕
 消防用設備不良箇所修繕
 食器消毒保管庫更新
 職員用シューズボックス更新
 パソコン購入
 電動ギャジベッド更新2台（年次計画）
 吸引経管栄養用モデル購入（喀痰吸引研修用）

- ⑤ 桃の里
 空調機GHP室内機修繕
 風呂追炊きボイラー修繕

II. 消火避難訓練及び防災設備等の点検等

- ① 毎月1回火災を想定しての避難訓練の実施、また地震、水害等を想定した避難訓練を実施し、迅速・適切な避難行動がとれるよう努めました。
- ② けやきの村と青松苑の合同および静心園において、地域の方々および消防署、消防団、関係団体の代表者と施設職員による総合防災対策協力者懇談会を開催し、非常事態発生時に備え協力体制の強化を図りました。
- ③ 年2回消防設備法定点検を実施しました。
- ④ 飯坂消防署による防災設備等の立入検査ならびに夜間防火管理体制検証を受けました。
- ⑤ コンセントのたこ足配線や綿ごみ等による自然発火を防止するため、居室内のコンセントの点検と電化製品の配線等の点検を実施しました。

III. 事故防止の徹底

- ① 利用者がそれぞれの施設・事業所において安心・安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット（インシデント）、事故（アクシデント）報告書による未然防止や再発防止に努めました。

	件数	内 訳					
		転倒	外傷	破損	服薬	火傷	その他
けやきの村	27	19	—	—	1	—	7
青 松 苑	10	7	3	—	—	—	—
静 心 園	185	58	24	—	3	—	100
ヘルパーステーション（居宅介護・訪問介護）	—	—	—	—	—	—	—
指定通所介護事業所	—	—	—	—	—	—	—
指定居宅介護支援事業所	—	—	—	—	—	—	—
飯坂北地域包括支援センター	—	—	—	—	—	—	—
合 計	222	84	27	—	4	—	107

- ② ①に記載の件数うち、平成25年3月11日付24自第4657号福島県障がい福祉課長名で通知のあった事故に該当する事故件数 4件（けやきの村1件、青松苑2件、静心園1件）
- ③ 事故防止のため、建物内の巡視を日常的に実施し、危険箇所及び危険物の早期発見に努め、整理整頓、居住環境の整備に努めました。
- ④ 介護中の事故の絶無に努めました。
- ⑤ 安全運転管理者の指導のもと、交通事故防止に努めました。

IV. 大規模災害時の防災対策

- ① 大規模災害の発生に備えて、非常電源の保守点検、食料品など非常備蓄品の計画的な購入（4日分を備蓄）、避難訓練の実施等、有事に備えました。
- ② 福島市内で大規模な災害が発生した際、災害時要援護者が避難する場所として「災害発生時における福祉避難所の指定に関する協定」を平成24年2月に福島市と締結しています。平成28年度においては、福島県主催の「災害応援協定ネットワーク会議（平成29年2月8日開催）」に出席し、関係機関との情報交換を行い顔の見える関係づくりを行いました。
- ③ 全国身体障害者施設協議会東北ブロック身体障害者施設協議会に加盟している51施設（けやきの村、静心園が加盟）が締結した物資や人的支援に係る防災協定に基づいて平成28年9月1日、平成29年3月3日に「防災シミュレーション」を実施しました。

V. 防犯対策

平成28年に発生した神奈川県相模原市の障害者支援施設における利用者殺傷事件を契機として、不審者への対応および外部からの不法侵入者等に対する備えを充実するため、福島北警察署の協力を得てけやきの村、静心園において法人職員を対象に防犯講習会を開催した。

平成29年2月15日 けやきの村

平成29年2月22日 静心園

VI. 職員のメンタルヘルス対策

労働安全衛生法の改正により、50人以上の職員を有する事業所に対して「ストレスチェック」が義務付けられました。

法人として、障害者支援施設けやきの村に設置した「衛生委員会」を中心に産業医の協力を得て「ストレスチェック」を実施しました。実施にあたり、全職員を対象に事前説明会を開催し、7月に実施しました。

VII. 職員の健康増進活動

平成27年度に「健康事業所宣言」を行い、平成28年度から下記のとおり具体的な活動を行いました。

健康づくりのための実施メニュー

- ①健康診断の実施～法令に従い、職員に対して「定期健康診断」を実施
- ②職員の生活習慣改善の支援～メタボに着目した「特定保健指導」の利用
- ③検査・治療の推奨～健診の結果、再検査や治療の必要があった場合、医療機関の受診の奨励
- ④我が社の健康プラン～メンタル対策への取り組み
ストレスセミナーの開催；6月17日および24日に開催し、法人職員60名出席
協会けんぽ主催の「健康チャレンジキャンペーン」に法人職員102名参加
(7月1日～31日、11月1日～30日に実施)

第2 地域の在宅要援護高齢者等に対するサービスについて

デイサービスセンター指定通所介護事業所・指定居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・ヘルパーステーションにおいてそれぞれの業務を実施し、地域の在宅要援護高齢者等の福祉の向上に努めました。

I. デイサービスセンター指定通所介護事業所

介護を要する認知症や疾病等により身体が虚弱又は身体上・精神上的の障害により日常生活を営むのに支障がある高齢者および障がい者を対象として、看護職員や生活相談員および介護職員が、健康状態の確認、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーションを家庭での生活の一部として行い、安心と信頼のきめ細かいサービスの提供に努めました。

☆利用状況	利用実日数	285日	
	利用延べ人員	4,951人	(前年度比 ー 3.8%)
	平均利用者数	19.1人	(前年度比 ー 2.6%)

II. 指定居宅介護支援事業所

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定の尊重」・「自分らしい生活の継続」および「自立支援」を基本として、つねに利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、そのプランに従ってサービスが提供されるよう多種多様の事業者と調整し、利用者やその家族の多様な希望や要望に対応するよう努めました。また、地域包括支援センター、病院、行政等関係機関との連携を密にして、公平中立な立場で適正な居宅サービス計画の提供が行えるよう事業所間連絡調整を充実させ、利用者の選択に基づいた支援に努めました。

ケアプラン作成 1,684件（前年度比+7.9%）

認定訪問調査受託 216件（前年度比-10.4%）

III. 飯坂北地域包括支援センター

高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、高齢者が住みなれた地域で、尊厳のあるその人らしい生活を継続できるよう、公正・中立な機関として、地域の高齢者等の心身の健康の保持および生活の安定のために、地域の保健・医療・福祉サービスやインフォーマルなど多様な社会資源を適切に利用できるよう支援するとともに、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的かつ継続的に支援することに努めました。

①総合相談支援事業

相談件数	1,862件（前年度比-35.0%）
サービス担当者会議	243回（前年度比+7.0%）

②介護予防ケアマネジメント事業

介護予防プラン作成	4件（前年度比-13件）
介護予防教室の開催	74回（前年度比+6回）
住宅改修プラン作成	1件（前年度比-2件）

③包括的・継続的ケアマネジメント事業

北方部地域ケア会議の開催	0回（前年度比-3回）
圏域での地域ケア会議の開催	0回（前年度比-3回）
飯坂方部民生児童委員協議会へ出席	11回

④権利擁護事業

虐待への対応	2件（前年度比-3件）
消費者被害への対応	被害相談0件、被害予防のための教室を2回開催
成年後見制度、日常生活自立支援	利用相談2件

⑤介護予防支援業務

介護予防支援（要支援認定者）	1,362件（前年度比+2.4%）
介護予防ケアマネジメント	28件

⑥地域づくりによる介護予防事業

福島市版介護予防体操体験講座の開催	2回
福島市版介護予防体操サポーター養成講座の開催	4回
福島市版介護予防体操スタート応援講座の開催	1団体
桃の里カフェの開催	7回

⑦生活支援推進事業

地域協議会開催（協議体設置に向けた準備）	2回
----------------------	----

IV. ヘルパーステーションけやきの村

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体その他の状況およびその置かれている環境に応じて、入浴・排泄及び食事等の介護、調理・洗濯及び掃除等の家事ならびに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般の援助の適切かつ効果的な実施に努めました。

ヘルパーステーションけやきの村サービス提供内容					
介護保険			障害福祉サービス		
延べ利用者数	派遣回数	稼働時間	延べ利用者数	派遣回数	稼働時間
643名	6,289回	5,011時間20分	24名	244回	319時間50分
前年度比+1.6%	前年度比-7.1%	前年度比-6.4%	前年度比-25%	前年度比-32.6%	前年度比-28%

V. けやきの村指定特定相談支援事業所

サービス等利用計画の作成により障害福祉サービス利用者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントの手法によるきめ細かな支援に努めました。

	契約者数	前年度比
けやきの村利用者	65名	+30.0%
青松苑利用者	35名	+34.6%
静心園利用者	46名	+9.5%
在宅障害者	44名	+41.9%
合計	190名	+27.5%

第3 社会福祉法の施行に伴う対応について

- ① 苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員からなる苦情解決委員会において福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図るための苦情解決制度の推進に努めました。

▽苦情解決委員会の開催

日 時；平成28年6月8日（水） 午前11時～

場 所；けやきの村2F集会室

出 席 者；第三者委員・理事長・常務理事・各事業所苦情解決責任者および苦情受付担当者

▽苦情の内容；下記のとおり（平成28年度分）

	受付件数	処理件数	苦 情 内 容					
			職員の対応	サービス内容	説明情報提供	被害・損害事故	権利侵害	その他
けやきの村 就労支援事業所	5	5	5	-	-	-	-	-
" 生活介護事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
" 訪問介護事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
青 松 苑	-	-	-	-	-	-	-	-
静 心 園	-	-	-	-	-	-	-	-
指定通所介護事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
指定居宅介護支援事業所	-	-	-	-	-	-	-	-
飯坂北地域包括支援センター	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	5	5	5	-	-	-	-	-

- ② 福祉サービスの質の向上に取り組むため、公平中立な第三者による評価機関が行う客観的・専門的な評価を受けるため、障害者支援施設けやきの村で第三者評価を受審しました。なお、評価結果については福島県保健福祉部指導監査課および独立行政法人福祉医療機構のホームページに公表されている。

評価実施期間；平成28年5月9日（契約日）～平成29年2月15日（評価結果確定日）

評 価 機 関 名；NPO法人福島県シルバーサービス振興会

- ③ 法人の機関紙として「けやきの村便り」を年3回発行し、サービス内容に関する情報の提供、財務諸表、事業報告書等の開示を行い事業の透明性に努めるとともに、障害者制度改革の経過等についての情報を利用者及び家族、出身世帯等に提供しました。

- ④ 平成26年3月31日から法人のホームページを開設し、サービス内容に関する情報の提供、財務諸表、事業報告書等の開示を行い事業の透明性に努めました。

平成28年度におけるトピックス掲載回数：65回

第4 施設利用者へのサービスの提供について

施設利用者個々の特性を把握し、その人に適した生活支援、健康管理、就労支援、職業指導および必要な機能維持のための訓練、介護を行い、適切かつ効果的なサービスの提供に努めました。

I. 支援方針の確立

年度当初において、施設利用者個々の態様に適した支援方針を確立し支援を行いました。また、年度途中においてモニタリングを実施し、当初の支援方針に基づいたサービスが提供されたかどうか、支援の効果が適切であったかどうか、施設利用者の充足度や今後の課題等について話し合いを行い、計画の達成度等について分析評価し、施設利用者の意向を尊重しながら支援方針の見直しを行いました。

II. 地域生活移行の推進

障害者総合支援法の大きな目標の一つである地域生活への移行について、けやきの村の就労事業における入所利用者を対象に地域生活体験事業を計画しましたが希望者はいませんでした。

就労の入所利用者のグループホームを中心とした地域生活移行を具体的に進めるためにも、グループホームを有する他法人と連携し計画的な体験事業の充実を図り、利用者本人の動機付けはもちろん、地域生活移行についての父兄の理解を深める機会と考え、今後も様々な体験を計画的継続的にできるよう推進していきます。

III. 各種訓練等の実施

- ① 施設利用者の社会適応性を培うために外出が困難な方を対象に介護外出、介護散歩を実施しました。

【介護外出】

けやきの村 33回104名参加（生活 22回、延べ60名参加）
（就労 11回、延べ46名参加）

青松苑 11回 19名参加

静心園 20回 41名参加

【介護散歩】

静心園 16回 36名参加

- ② 一泊旅行を実施しました。

けやきの村 新潟・月岡温泉方面へ1回実施、就労事業利用者24名、父兄6名参加

- ③ 日帰り旅行を実施しました。

けやきの村 仙台・うみの杜水族館へ1回実施、就労事業利用者34名、父兄7名参加

- ④ バスハイク、日帰り遠足を実施しました。

けやきの村 仙台市（麒麟ビール仙台工場等）
（生活介護利用者）7回実施、利用者 33名参加

青松苑 福島市（買い物、食事） 5回実施、利用者 20名参加

郡山市（買い物、食事） 2回実施、利用者 10名参加

- ⑤ 出身家庭との交流を深めるため、お盆休暇、年末年始休暇を実施しました。

お盆休暇 8月13日～8月16日（4日間）

年末年始休暇 12月29日～1月3日（6日間）

IV. 各種行事の実施

- ① 毎月実施したもの

誕生会・園長相談・各種クラブ活動・喫茶・創作活動・生産活動・買物支援・集団リハ・集団レク

② 季節毎に実施したもの

花見・納涼祭・老人の日を祝う会・勤労に感謝する会・芋煮会・クリスマス会・新年会
成人の日を祝う会・節分・ひな祭り

③ その他

開園記念日・事業開始記念日・アニマルセラピー・福島市福祉作品展への出品・中野地区展
覧展への出品・ゲーム大会・その他各種招待行事等への参加

V、健康管理

① 結核検診・成人病検診 年2回

② 体重測定・血圧測定 毎月

③ 嘱託医の出務

けやきの村生活介護事業所、静心園は毎週1回、けやきの村就労支援事業所、青松苑は毎月
2回出務して、施設利用者の健康管理にあたりました。

④ 機能訓練の実施

けやきの村生活介護事業所は理学療法士が、静心園は作業療法士が、個別リハビリテーショ
ン計画に基づいた訓練を実施しました。また、けやきの村生活介護事業所は週1回、静心園は
週3回、集団リハ・集団レクを実施しました。

青松苑では週1回、理学療法士と作業療法士の指導のもと機能訓練を実施しました。

⑤ インフルエンザ感染予防のため、利用者及び全職員が予防接種を受けました。

⑥ 口腔ケア対策として、歯磨き指導、除石等を青松苑・静心園で行いました。

⑦ 平成24年度から「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」に伴い介護職員等による喀痰吸
引等の実施のための制度が整備されました。それに伴い、施設・事業所として喀痰吸引等の医行
為を実施するため、「登録特定行為事業者」「登録不特定行為事業者」として福島県に登録してい
ます。

障害者支援施設けやきの村 ・登録番号072000014（特定）

事業開始登録；平成24年4月1日

実施する喀痰吸引等（特定行為）の行為

◎口腔内の喀痰吸引

◎鼻腔内の喀痰吸引

◎胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

・登録番号0710000202（不特定）

事業開始登録；平成27年8月1日

障害者支援施設青松苑

・登録番号072000030（特定）

事業開始登録；平成25年12月1日

実施する喀痰吸引等（特定行為）の行為

◎口腔内の喀痰吸引

◎鼻腔内の喀痰吸引

◎胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

・登録番号0710000180（不特定）

事業開始登録；平成25年12月1日

障害者支援施設静心園

・登録番号072000015（特定）

事業開始登録；平成24年4月1日

実施する喀痰吸引等（特定行為）の行為

◎口腔内の喀痰吸引

◎鼻腔内の喀痰吸引

◎気管カニューレ内部の喀痰吸引

◎胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

◎経鼻経管栄養

・登録番号0710000195（不特定）

事業開始登録；平成27年5月1日

⑧ 障害者支援施設静心園を喀痰吸引第三号研修登録研修機関として登録し研修を行いました。

- ・登録番号 0720006
- ・登録日 平成28年8月10日
- ・研修実施日 平成28年10月4日～5日
- ・受講者 19名

VI. 給食

- ① 給食サービスの提供にあたっては、委託先の栄養士と連絡を密にするとともに、各施設の給食委員会にも同席してもらい利用者の要望等を直接伝えることにより、献立・給食の提供方法等に反映させ、利用者の満足度を高めることに努めました。
- ② アンケート方式による嗜好調査を実施し、その結果を献立に反映させました。
- ③ 毎月1回給食委員会を開催し、施設利用者の要望等を取り入れ献立に反映させました。
- ④ 施設利用者の要望に基づき、選択メニュー、鍋物、バイキング形式の食事を提供しました。
けやきの村 選択メニュー（鍋物、バイキング等を含む） 50回
青松苑 選択メニュー（鍋物、バイキング等を含む） 51回
静心園 選択メニュー（バイキング等を含む） 53回
- ⑤ 受託業者のおすすめ献立等を積極的に取り入れ、メニューの充実に努めました。
- ⑥ 栄養スクリーニングにより個々の健康状態を把握し、栄養マネジメント会議において、関連多職種共同で栄養ケア計画を作成して、アセスメント、モニタリングの実施により個々の栄養管理を行うとともに必要に応じて栄養相談を実施しました。
- ⑦ 栄養士連絡会を毎月1回開催し、給食に関する打合せを行い、給食の質の向上に努めました。

VII. 身体障害者短期入所事業の実施について

指定短期入所事業所けやきの村および静心園において実施しました。

短期入所	けやきの村	静心園
延利用人員	118人（前年度比+12人）	2人（前年度 0人）
延利用日数	439日（前年度比+14.6%）	15日（前年度 0日）
実利用人員	21人（前年度比+ 1人）	1人（前年度 0人）

第5 就労支援及び就労継続支援について

① 施設利用者の重度化、高齢化による作業能力の低下があるなかで、各企業からの受注の確保および新規開拓に努め、次の工賃配分実績をあげました。

けやきの村	年間事業収入	14,039,938円（前年度比+ 5.5%）
	月平均工賃（B型）	15,733円（前年度比+ 7.3%）
	//（移行）	12,404円（前年度比+31.3%）
	//（生活）	534円（前年度比+12.4%）
青松苑	年間事業収入	4,812,589円（前年度比- 0.6%）
	月平均工賃（B型）	25,943円（前年度比+ 3.4%）
	//（生活）	5,613円（前年度比 -0.6%）

② 就労移行支援事業所（けやきの村）においては、ハローワークや障害者就業・生活サポートセンター等との連携の中で、一般企業等への就職者はありませんでしたが、障がい者が地域で自立した生活が送れるよう、その基盤づくりに努めました。

- ・一般企業等就職者数 0名
- ・ハローワーク登録者数 2名
- ・障害者就業・生活支援センター登録者数 2名
- ・企業採用試験等応募者数 2名
- ・フォローアップ支援（職場訪問）者数 2名

③ 特別支援学校の生徒の卒業後の進路対策（卒業後の利用先）として、下記のとおり10名の生徒の

実習受入れを行いました。

学 校 名		けやきの村	青 松 苑
県立大笹生養護学校	高等部2年	1	
県立大笹生養護学校	高等部3年	3	
県立郡山養護学校	高等部1年	1	
県立盲学校	高等部2年		2
県立盲学校	高等部3年	1	
市立養護学校	高等部3年	2	

第6 人材育成・職員の資質の向上について

- ① 人材の育成および人材の確保と一人ひとりの職員の資質の向上および他職種との連携は、利用者満足度を高めるための基盤であるという認識の下、現在の『社会福祉法人けやきの村キャリアパス』に基づく人事制度を更にブラッシュアップするため、情報収集等に努めました。
- ② 施設利用者のニーズの多様化に対応するため、下記のとおり職員の研修に努めました。

	けやきの村		青 松 苑		静 心 園		桃 の 里	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
法人主催 新任職員研修会	1	6	1	1	1	3	1	3
// 普通救命講習会	2	8	2	3	2	6	1	2
施設主催 勉強会等	6	134	-	-	6	131	-	-
// 研修報告会	15	284	-	-	-	-	-	-
県研修センター主催による研修会	16	24	11	11	12	24	6	7
関係団体主催による研修会	35	74	2	2	11	33	29	52
介護支援専門員協会等研修会	-	-	-	-	-	-	5	6
登録ヘルパー研修会	3	3	-	-	-	-	-	-
たん吸引等指導者養成講習会	-	-	-	-	-	-	-	-
たん吸引等基本研修会(特定の者)	1	3	-	-	1	16	-	-
たん吸引等基本研修会(不特定の者)	-	-	-	-	1	2	-	-

- ③ 平成27年度より「社会福祉法人けやきの村自己啓発援助制度」に基づき、研修に参加しました。

	けやきの村		青 松 苑		静 心 園		桃 の 里	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
自己啓発援助制度に基づく研修会	14	31	2	8	4	11	1	1

第7 地域との交流について

- ① 地域に関われた施設、地域社会の理解と協力が得られる施設づくりをめざし、平野婦人会等のボランティア活動の受入れや、桃の里においては中野小学校や飯坂保育所の子供たちとの交流会を行うなど地域との交流に努めました。また「中野地区展覧会」の実行委員に加わり、地域活動を支える団体として一翼を担いました。
- ② 地域との交流の活性化を図るため、「第46回中野地区大運動会」の共催団体として実行委員会に職員が参加し、企画・運営に参画しました。また10月9日に開催された運動会には利用者17名・職員16名が参加、地域の一員として役割を担うとともに、地域住民とともに競技に参加し交流を深めました。
- ③ 8月4日に「納涼盆踊り・花火大会」、9月25日に「けやき祭」を開催し、多くのボランティアの協力を得るとともに地域との交流に努めました。また「花見会」や「芋煮会」には地域の方々を招待し、利用者との交流の時間を設けるなど積極的に地域活動を推進しました。
- ④ 9月25日開催の「けやき祭」においては、市内を中心に自主生産品を販売している就労系事業所10か所に対して販売機会を提供しました。
- ⑤ 「福島市障がい者記念事業～ふれあいのつどい～」の実務担当者として参加し、障がい者週間の啓蒙活動に寄与しました。

第8 地域における社会貢献活動について

飯坂地区の福祉拠点としての役割を果たすため、地域に開かれた施設づくりを目指して様々な活動を進めてきました。平成28年度においては、これまでの活動に加えて、新たに私たちから地域に出向き、社会福祉法人けやきの村を知っていただくための情報発信や地域の皆様とともに地域の活性化に向けた取り組みや地域課題解決に向けた支援を積極的に進めるべく活動を展開しました。

① なかのPTCA活動への協力

児童数の大幅な減少によりPTA活動に支障が出ていた中野小学校・PTAの呼びかけに応じ、父母と教師と地域が学校を支える活動に法人として参加しました。

7月23日；ほたるのつどいの出店係として協力

11月6日；中野小学校学習発表会の観覧協力

11月17日；校内マラソン記録会の交通安全確保ための要員派遣への協力

2月2日；校内なわとび記録会の記録係として協力

② 飯坂温泉ファイヤー祭2016・飯坂小唄流し踊りへの協力

飯坂温泉を核とした飯坂地区活性化への協力として、8月19日開催の流し踊りに法人職員40名が参加しました。

③ 障害者支援施設けやきの村が「生活困窮者就労訓練事業」実施に係る認定を福島県から受けました。

認定日；平成28年7月20日

認定番号；0700000027

定員；10名

第9 借入金の返済について

平成28年度借入金返済額は下記のとおり

① 桃の里分（独立行政法人福祉医療機構）平成28年度をもって返済完了

返済月日 平成28年8月10日 元金 1,200,000円

利子 21,201円

② けやきの村分（独立行政法人福祉医療機構）

返済月日 平成28年8月10日 利子 939,250円（利子のみ返済）

平成29年2月10日 元金 11,050,000円

平成29年2月10日 利子 939,250円

第10 理事会・評議員会・監事会等の開催について

別紙1のとおり

第11 一般事業実施報告について

別紙2のとおり

第12 福祉ビジョン「個別目標」の実績報告について

「社会福祉法人けやきの村福祉ビジョン2015」(平成27年度～平成29年度)の中間年度である平成28年度の実績は以下のとおりでした。

(1) 基本目標への取り組み

※記号の説明 ○：達成 △：準備段階(取組みはじめ) ×：未達成(未実施) ⇒：事業継続の期間

大区分	中区分	実施項目	27	28	29
人材の確保、定着、育成について	人材確保のための取り組み	就職説明会等への参加	○	○	⇒
		人材確保のためのパンフレット作製	○	○	
		ホームページを活用した給与体系、人事制度、キャリアパス制度及び福利厚生に関する情報開示	○	○	⇒
		人材確保に向けた初任者研修事業実施の検討	×	×	⇒
	人材定着のための取り組み	○JTの実践、メンタルケアへの取り組み、マニュアルの作成	○	○	
		職場内サークル活動の積極的な紹介・勧誘等への働きかけ	△	△	⇒
		ワークライフイメージ資料の作成	×	×	
		産業医、衛生委員会の有効活用	○	○	⇒
		夏季休暇の全職員完全取得	○	○	⇒
		有給休暇の取得率向上	△	△	⇒
	人材育成のための取り組み	自己啓発援助制度の実施	○	○	⇒
		職場内○JTへの積極的な取り組み	○	○	⇒
		個別研修計画の作成、実施、評価	○	○	⇒
		喀痰吸引等研修登録研修期間申請	△	○	⇒
		福祉系国家資格等取得奨励制度の検討	×	△	⇒
地域における公益的な取り組みについて	地域の関係団体等との連携・協力	中野地区展覧会実行委員会への参画及び運営への協力【P9第7①参照】	○	○	⇒
		なかのPTCAへの参画【P10第8①参照】	○	○	⇒
		中野地区大運動会への運営協力、利用者・職員の参加【P9第7②参照】	○	○	⇒
	地域における公益的な取り組み	生活困窮者自立支援法に係る就労訓練事業実施に向けた検討	△	○	⇒
		各種上部団体の対応に基づく活動の検討	△	○	⇒
		福島県北地区障がい福祉連絡協議会との連携の検討	×	×	⇒
地域のニーズに応じたサービスの展開について	障害福祉サービス対象者の拡大について	各障害福祉サービスにおける対象者の拡大	○	○	⇒
	介護保険サービスの対象者について	各介護保険サービスにおけるニーズに基づく対象者の見直し・検討	△	△	⇒
	障がい福祉サービスの新規事業について	①障害者住宅の利用促進	×	×	⇒
		②グループホーム設置の検討	×	△	⇒
		③隣接市営住宅の有効活用の検討	×	×	⇒
		主に知的障害者を対象にした生活介護事業立ち上げの検討	×	×	⇒
相談支援事業の拡大(一般相談支援事業)の検討	×	×	⇒		

(2) 施設、事業所における取り組み

※記号の説明 ○：達成 △：準備段階（取組みはじめ） ×：未達成（未実施） ⇒：事業継続の期間

中 区 分	実 施 項 目	27	28	29
障害関係共通	利用者の意向を尊重した個別支援計画に基づく安心した生活、又は充実した仕事ができるような支援体制の確立	○	○	⇒
	アセスメント・計画作成・支援の実施・モニタリング・計画の修整、見直し・再アセスメントのプロセスを踏まえた個別支援	○	○	⇒
	利用者に施設・職員を合わせるという視点	○	○	⇒
	利用者ニーズに基づく日中活動の充実	○	○	⇒
	第三者評価事業の計画的受審	×	○	⇒
生活介護	定員超過減算の対象にならない範囲での利用者確保【P13①、P14⑦、P15⑩参照】	×	△	⇒
就労継続支援B型	特別支援学校等との連携の強化による利用定員の確保【P8第5③参照】	×	○	⇒
	地域生活移行希望者に対する社会資源利用や宿泊体験の事業実施による地域移行の推進【P6第4Ⅱ参照】	○	○	⇒
	施設外就労の拡大	○	○	⇒
	障害者優先調達推進法を活かした受注拡大	○	○	⇒
	新規作業の開拓、自主精算品の開発及び委託販売の検討	○	○	⇒
	工賃の向上⇒毎年度、前年度工賃を上回ること【P8第5①参照】	○	○	⇒
就労移行支援	特別支援学校等との連携の強化による利用定員の確保【P8第5③参照】	×	×	⇒
	ハローワーク・障害者職業センター及び障害者就業・生活支援センター等と連携の強化による一般就労の推進【P8第5②参照】	×	×	⇒
	一般就労者に対するフォローアップの充実による職場定着率の向上【P8第5②参照】	○	×	⇒
施設入所支援	〔施設入所支援＋生活介護〕待機者がいる現状を踏まえた定員の確保【P13①③、P14⑦⑨、P15⑩⑪参照】	×	○	⇒
	〔施設入所支援＋就労移行支援〕を実施している強みを活かした利用者の受入【P13②参照】	×	×	⇒
	〔施設入所支援＋就労継続支援B型〕利用者の地域移行の推進【P13②参照】	○	×	⇒
短期入所	地域の障害者と介護者のニーズに基づく利用率の向上【P8第4Ⅶ、P13⑤参照】	○	○	⇒
居宅介護 重度訪問介護	地域移行者へのサービスの充実【P4第2Ⅳ、P15⑬参照】	○	×	⇒
	在宅障がい者へのサービス提供の拡大【P4第2Ⅳ、P15⑬参照】	×	×	⇒
特定相談支援	計画相談利用者の確保【P5第2Ⅴ参照】	○	○	⇒
通所介護	安定した事業継続が可能となる収入（利用者）の確保【P4第2Ⅰ、P15⑫参照】	×	×	⇒
	認知症高齢者、重度の要介護者に対応できる人材の確保	○	×	⇒
	広報活動の充実	○	△	⇒
居宅介護支援	法人内有資格者のケアマネージャー登用等	×	○	⇒
地域包括	介護予防利用者の拡大【P4第2Ⅲ②参照】	○	○	⇒
	高齢者の権利擁護・虐待防止への取組み強化【P4第2Ⅲ④参照】	○	○	⇒
	介護予防・健康教室等の積極的開催【P4第2Ⅲ⑥参照】	○	○	⇒
	地域の高齢者支援の拠点としての機能充実	○	○	⇒
訪問介護	安定した事業継続が可能となる収入（利用者）の確保【P4第2Ⅳ、P15⑬参照】	○	△	⇒

別表 I

①けやきの村生活介護事業所

実施項目	区分	定員数	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	達成率
			利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
利用者の確保	入所	52	52	51	51	51	51	52	52	50	52	117.3%
	通所		2	2	2	3	2	2	2	5	9	

②けやきの村就労支援事業所（B型・移行）

実施項目	区分	定員数	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	達成率
			利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
利用者の確保	入所	60	32	30	28	27	26	27	27	24	22	95.0%
	通所		13	17	23	27	27	28	29	29	35	

③けやきの村施設入所支援事業所

実施項目	区分	定員数	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	達成率
			利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
利用者の確保	入所	80 (88)	84	81	79	78	77	79	79	74	74	92.5%

※平成27年4月1日から入所定員は80名に変更

④通所者の送迎利用状況（20年4月より実施）

20年4月の利用者数	21年3月の利用者数	22年3月の利用者数	23年3月の利用者数	24年3月の利用者数	25年3月の利用者数	26年3月の利用者数	27年3月の利用者数	28年3月の利用者数	29年3月の利用者数	増加率 (対前年比)
6	10	16	18	22	19	21	22	28	33	117.9%

⑤けやきの村短期入所事業所

目標値	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	達成率 (稼働率)
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
稼働率25% (365日)×1床	延利用者数	54	85	70	91	77	63	78	106	118	—
	延利用日数	270	336	197	292	304	197	291	393	439	120.3%

